

# 農政局だより @ひょうご

2024.11  
H-SATT

〒650-0024  
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎  
TEL:078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp



## 第2回「フラッグシップ輸出産地」を募集しています！

農林水産省は、今後、一層の輸出拡大を図るため、輸出先国・地域のニーズや規制に対応した農林水産物を求められる量で継続的に輸出する産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。

第2回目は、募集対象品目として新たに林産物、水産物を加え募集しています。



募集  
↓リーフレット



現在農林水産物の輸出に取り組んでいる産地のうち

- ①輸出先国・地域の規制やニーズに対応した輸出を行っていること
- ②一定の量又は金額の輸出実績があること
- ③サプライチェーンを構築し、継続的・安定的な輸出を行っていることを全て満たす輸出産地を募集し、農林水産大臣が認定します。



産地募集中！

### フラッグシップ輸出産地

輸出産地形成・育成に向けた

## フラッグシップ輸出産地

の第2回募集を開始します！！

従来の農畜産物に加え、  
林産物・水産物も募集！

募集締切：11月29日（金曜日）

### < 目的・概要 >

「フラッグシップ輸出産地」として認定された産地は、これから輸出に取り組む産地の手本として、その取組を横展開することで、輸出産地の形成を促進します。

また、認定された「フラッグシップ輸出産地」に対しては、その更なる拡大・発展を後押しする支援を行います。

### < 産地認定のメリット >

農林水産省		GFPによる支援（主な例）		
認定証授与	補助事業の優先採択等	トッパーナー会合の開催	認定産地の情報発信	海外バイヤーとのマッチング
				
認定産地に対し、大臣認定証を授与	認定産地に対し、各種支援措置を優先的に措置	認定産地を集めた交流会の開催	GFPウェブサイト等を通じた国内外への情報発信	海外バイヤー招へい産地ツアー・商談会の実施
※この他にもさまざまな支援策を検討中				

なお、詳細はホームページを御覧ください。（11月1日農林水産省公表）

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/s\\_keisei/241101.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/241101.html)



「きゅうり」☆  
現場にて



～ 工務店の技術で栽培施設を建設 ～  
＜ 加東市 株式会社木心ファーム ＞



加東市で、トマトなどを生産する株式会社木心ファームの工場長 鷹尾賢一さんにお話を伺いました。

－農業に参入したきっかけは？－

東日本大震災を機に、安全でかつ安心してもらえる農産物を日本の消費者に届けるためにはどうすればよいかを考えていました。もともとは工務店であり、建築の専門家の立場から考えた時に、建物の中で隔離した状態で生産すれば良いということに思い至りました。建築の技術を活かして植物工場を建設し、外界から遮断した状態でレタス生産を始めたのがきっかけです。

－どのような取組みをされていますか－

生産した農産物に付加価値を付けるため、様々な商品に利用可能な作物であるヨモギ生産を開始し、せっけんやバームクーヘンなどの商品を開発し販売しています。



植物工場の1室

小麦粉の価格高騰もあり、お菓子作りには米粉を使うこととし、地元へ貢献するため地元産のお米を米粉に挽いて材料にしています。

周辺の露地トマト生産者に影響を与えないため、事業拡大の際には自社オリジナルビニールハウスでトマトの養液土耕栽培を始めました。トマトにストレスを与える特殊な栽培方法により、糖度の高い小ぶりなトマトを生産しています。この高糖度のトマトもケチャップ・ジャム・ストレートジュースに加工して販売し、お客様にたいへん喜ばれています。



工場長の鷹尾さんと  
レンガ造り風のオシャレな直売所

生産したトマトなどの野菜や加工品は、近隣の直売所やスーパーマーケットに出荷していますが、本社敷地内にある直売所“mogyomogi”でも販売しています。また、県内各地にある工務店のモデルハウスの敷地でマルシェも定期的に行っていますので、加東市から遠いお客様にもトマトやバームクーヘンを購入していただくことができます。

－今後の展望は？－

農業を始めて太陽の恵みを実感しました。建築に携わる者としての技術で植物工場に太陽光を取り入れる手法はないかと試行錯誤しているところです。当初掲げた売上げ目標金額にはまだまだ到達できていませんが、農業部門だけの黒字に近づいているので、まずそれを達成させ、その後、生産のノウハウと建物をパッケージとして販売していきたいと考えています。



収穫後の圃場の様子 (右：収穫直前のトマト)  
これからどんどん色付いていきます

**農作業 11月のワンポイント** 詰まった時は、まず停止！

↓ 詳しくは



～ 作物の詰まりなど異常を感じたら～

- 1 まず、エンジンを止めます。
- 2 深呼吸して、冷静に対処を考えます。
- 3 作業速度を下げたり、機械への供給量を減らしてみます。
- 4 点検や詰まりの除去は、エンジンを止めたまま行います。



異常な音を聞いたらまず、機械を止めましょう

また、首や腰から手ぬぐいをぶら下げたり、裾（すそ）や袖（そで）がバタつく服装で作業することも厳禁です。

**「令和6年度 病害虫発生予報第9号」公表** 11月13日農林水産省公表

↓ 詳しくは

11月13日から向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。



①作物共通でハスモンヨトウ、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウ②きゅうりでコナジラミ類の発生が、近畿の一部の地域で多くなると予想。この他、近畿の一部の地域でやや多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

# 環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

## 加西市 株式会社元源 藤本 圭一郎さん

— 「ひかり姫」を黒枝豆の女王様に育てて地域の活性化を —

藤本さんは平成21年に加西市上万願寺地区の地元の方の応援を得て就農・定住されました。地域の在来品種である里芋「絹里芋」を無農薬無化学肥料で栽培し、お客様の皮むきの手間を省くため、冷凍剥き絹里芋としても販売しています。

酒造好適米「山田錦」は酒蔵の勧めで有機栽培や特別栽培等で生産されています。生産された山田錦を使用した日本酒は、フランスのコンテストで各賞を受賞し、フランスの有名ホテルのレストランで採用されるなど、世界にも認められる“SAKE”として輸出されています。

酒米(山田錦)の契約田



写真：(株)元源提供



「農のクリエイティブ万願寺」のメンバー 枝豆の被り物で地域活性化！藤本さん(右から2番目)

令和5年度には、地域活性化を目指して「農のクリエイティブ万願寺」というグループを地域の若手生産者4名で結成しました。

グループでは黒枝豆「ひかり姫」等を地域ブランドとして据え、販売力向上による所得向上を目指すほか、就農希望者への研修や収穫イベントなどで関係人口の創出や定住活動にも尽力されています。

「ひかり姫」は黒豆の王様「丹波黒」と遺伝子的に9割以上同じで、なおかつ病気に強い性質を持っている黒豆です。旬がわずか数週間の黒豆を一年中全国に届けられるよう、冷凍蒸し枝豆を開発し販売しています。

藤本さんは「丹波黒が黒豆の王様なら、ひかり姫は黒豆の女王様として育てたい」とお話しされていました。

Instagramで最新情報を♪



@GENGEN.831

株式会社元源



@CREATIVE\_MANGA  
農のクリエイティブ万願寺

## 丹波篠山ファームMaegawa 前川 康幸さん、知余美さん、船橋 真樹さん

— 農家ってすごい！こんな時代だからこそ、自分たちにできる農業を —

前川さんご夫妻は、専業農家となって6年目。現在は、一部ほ場で有機JAS認証を取得し、夫婦ともに環境にやさしい農業に取り組んでおられます。今年から娘婿の真樹さんという頼もしい担い手も加わり、経営のパワーアップを目指しています。

有機農業を始めたきっかけは、知余美さんが嫁いできた当初、ご主人の両親の農業を手伝っていましたが、農薬等の影響で体に発疹が出たことに不安を覚え、何か手立てはないかと調べた先に有機農業と出会ったことです。



栽培品目は、コシヒカリともち米、黒大豆、黒枝豆、アールスメロンを中心に、少量多品目でイタリア野菜や落花生なども栽培しています。主な出荷先はレストランや料亭、個人販売などです。

野菜の成長する様子など、農業のすごさを実感できる日々の感動を消費者のみなさんにも知ってもらいたいとの思いから、写真をInstagram等で発信しています。



- それぞれの目標は？ -

- 康 幸 さん ★有機農業の大切さを広められるよう、今後も自然循環型農業を続け、規模の拡大を目指したい。
- 知余美さん ★自分の「好きなもの」としてメロンを栽培。せっかくできたメロンが無駄にならないよう、メロンの加工品を考えたい。
- 真 樹 さん ★ドローンなどを使ったスマート農業を取り入れ、有機農業面積の拡大や義父母の作り上げた農場の経営規模拡大に貢献したい。



@FARM\_MAEGAWA  
Instagram

《簡単な経営概況》

水稲	7 ha
黒大豆	2 ha
黒大豆枝豆	1 ha
丹波大納言小豆	
イタリア野菜	20種類
アールス系メロン等	

# 「農」イノベーションひょうご推進協議会 ～異業種連携による商品開発等を支援～

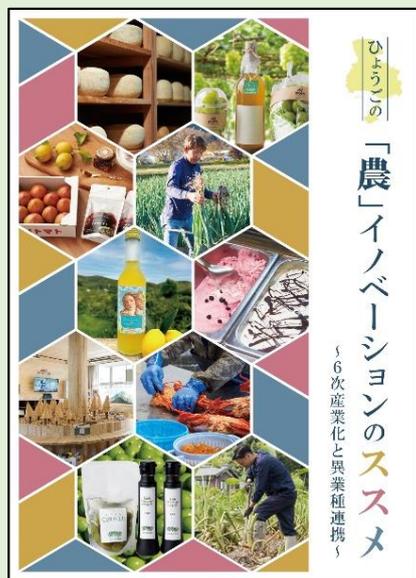


## ★「農」イノベーションひょうご推進協議会ってどんなところ？★

農林漁業者と食関連事業者や研究機関などが連携し、兵庫県産農林水産物を活用した、新商品・新サービスの開発等の事業活動を応援するための団体です。2014年に設立し、会員数は、2024年7月18日現在で**821**会員です。

## ★主にどんな活動をしているの？★

- ・ 農林漁業者と食関連事業者などとの連携による新商品・新サービスの開発を目指して、課題の解決に繋げる**セミナー**や、新たな出会いを生み出す**交流会**を開催しています。
- ・ **農林漁業者等に対してアドバイザーを派遣し**、商品の開発やブラッシュアップのための支援、オープンファームの開設・取組拡大に向けた体験プログラムの作成など、専門的な助言を行っています。
- ・ ホームページ等を活用し、会員間の交流を促進するとともに、**協議会活動をきっかけとして生まれた新商品等のご紹介を行っています。**



← 6次産業化や異業種連携に取り組む方々の事例を集め、紹介しています。

→詳細はこちら



セミナーの様子

## 今後のセミナーのご案内

消費者を地域へ呼び込み、農作業体験等を通じて、「農」の価値を直接伝える取組である「オープンファーム」をテーマにした**交流セミナー**を2025年1～2月頃に開催予定

**6次産業化や異なる業種との連携に興味がある方は、HP等をチェック！**

## ★「農」イノベーションひょうご推進協議会★

事務局：兵庫県農林水産部 総合農政課 農林水産政策班  
事務局所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
(兵庫県庁1号館6階 総合農政課内)  
TEL.078-362-9216  
HP：<https://nou-inno-hyogo.jp>



NOU\_INNO\_HYOGO

## お知らせ & 募集

11月29日「ノウフクの日」

11月29日は「ノウフクの日！」

～「農業」と「福祉」が繋がって日本を元気に！～

11月は「和ごはん月間」  
11月24日は「和食の日」



12月8日は「有機農業の日」  
(オーガニックデイ)】



2025年農林業センサス

令和7年2月1日現在

調査へのご協力を、  
よろしくお願いたします。



全国ジビエフェア開催

11月1日～2月28日



周辺水域の水産資源に関する  
評価結果 (アカガレイ、ヒラメ等)

10月31日公表



## 地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

**TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp**